

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立高島第五小学校

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、話し合い活動が十分にできていない。 ・運動が好きで、体育の授業を楽しみにしている児童が多い。 ・器械運動を苦手とし、避けようとする傾向が強い。 ・ボールを使った遊び（ドッジボール、サッカー、野球など）や鬼ごっこなど、普段の遊びの中で経験するものについては楽しんで取り組み、教え合う場面も見られる。 ・腕支持の感覚や逆さ感覚などの経験が少なく、学習の時間だけでは習得することが難しい。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや約束を守ることによって、全員が活躍できたり自分から楽しく参加したりできるような授業づくりが必要である。 ・器械運動などは、高学年になるまでに苦手意識が定着してしまう。また、「自分に合った技」というものがそれぞれちがうので、教え合うところまで高めるための工夫が必要である。 ・課題解決のための場づくりの工夫が必要である。 ・走力が減少しているため、授業の時間を有効に使って、練習する時間を確保する。 ・技能ポイントが分かる資料を活用する必要がある。 ・感覚を養うための動きの工夫、時間を設ける必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三密を避けた話し合いの場を工夫する。 ・ICTを活用し、課題解決に役立てる。 ・どの児童も楽しめるような課題を設定する。 ・個人差も認め合いながら、誰もが楽しく参加できるように場の工夫をする。 ・ルールや約束を守り、楽しく取り組むために、協力して運動できるような場を設定していく。 ・体育の時間の中で、できるだけたくさん体を動かす時間をつくとともに1つ1つの運動を一人ひとりの児童の技能に合わせて丁寧に指導していく。 ・資料を活用し、技能ポイントが分かるようにする。 ・健康、保健に関する基本的な知識を身に付け、それを生かした生活ができるようにする。 ・運動技能の向上を目指すとともに、ルールやマナーも身に付けるようにする。 ・動きを持続する能力を高めるため、一定のコースに置かれた固定施設、器械・器具などを越えながら移動するなどの運動を意識的に取り入れる。